

COSMORAMA

NGU NEWS ISSN 0915-8901

74

2005 November



名古屋キャンパス白鳥学舎チャペル外観イメージパース



チャペル内部イメージパース



クラブハウス外観イメージパース

祝銀メダル!! ノルウェーの大地を駆ける!!

— 世界学生馬術選手権大会出場インタビュー —

馬術部”村井康式さん”
世界学生馬術選手権大会出場!!
障害競技団体に銀メダル獲得!



Interview

経済学部4年の村井康式さんが、8月17日からノルウェー(トロンヘイム)で開催された「2005年度世界学生馬術選手権大会」に日本代表として出場し、障害飛越団体競技で銀メダルを獲得されました。名古屋学院大学のクラブ活動に明るい話題を提供された村井さんと馬術部長の木下政宣さん(教務課参事)に今回の世界大会の活躍についてうかがいました。

馬術部に入るといえるのは、普通の人にはなかなか決断がつかないように思うのですが、村井さんは馬との付き合いは以前からあったのですか。

村井 最初に馬と接したのは中学二年のときでした。最初は、競馬の騎手を目指して始めた乗馬ですが、体格の関係で騎手の夢を絶たれた後も乗馬は捨てきれず、今までずっと続けてきました。名古屋学院大学の馬術部にしたのは、

村井さん 木下部長 第7回世界学生馬術選手権大会出場、そして準優勝おめでとうございます。まず、大会を終えて現在の心境、お気持ちを聞かせてください。

村井 大会へ参加する前から団体戦を重視していたので、2位に入れてとてもうれしかったです。



PROFILE

むらい やすのり
村井康式さん
経済学部経済学科4年
きのした まさのぶ
木下政宣さん
馬術部長(教務課参事)

CONTENTS

Interview

- 1 祝銀メダル!!
ノルウェーの大地を駆ける!!
世界学生馬術選手権大会出場インタビュー

Topics

- 2 “愛・地球博”会場のかたすみで
見つけた大きなこと 古橋敬一
- 4 名古屋キャンパスについて
概要報告(3)
- 5 就職難と求人難が並走する
2005年度就職戦線

Essay

- 6 シリーズ㊟ エッセイ
火山の島アイスランド
石川輝海

Campus Now

- 7 私の講義日誌㊟ 西土彰一郎
- 8 2005年度父母懇談会を終えて
2005年度 学部長表彰
～100名に学部長表彰状を授与～
- 9 2005年父母会総会開催
2004年度 名古屋学院大学同窓会決算書
- 10 教育振興資金・名古屋キャンパス
チャペル建設資金募金の御礼とご報告
- 11 2004年度 決算

Information

- 12 名古屋キャンパス(白鳥学舎)起工式開催
世界学生馬術選手権大会「準優勝祝勝会」開催
「本当に強い大学(週刊東洋経済)」
就職力部門にランクイン!!
チャペル建設資金の募金のお願いについて
名古屋学院大学ホームページ「リニューアル」
第8回高校生英語
スピーチコンテストを開催
2005年度新入生紹介
行事予定
(2005年11月～2006年3月)

COSMORAMA(コスモラマ)の由来

「宇宙」や「世界」を表わすCOSMOS(コスモス)とPANORAMA(パノラマ)との合成語。19世紀にロンドンの街角でしばしば行なわれた世界各地の様子をのぞきみせるショーの名称として使われたのが最初。世界の動きに興味を持ち、大きな視点に立ってそれを見渡すことができるようにとNGU NEWSの愛称に採用しました。

中部の中でトップクラスの馬術部であったので入部しました。

さて、この世界大会がどのような大会なのか教えてください。

村井 毎年馬術競技が盛んなヨーロッパを中心に開かれる大会で、国際馬術連盟主催の大会です。昨年は、日本ではじめて開かれ、会場は東京の馬事公苑でした。2年前の大会では、馬場競技で、日本が個人2位・団体3位に入っています。

今回の大会について教えてください。

村井 開催国はノルウェーのトロンヘイム(注1)という街で、8月17日～8月21日まで開催されました。参加は15カ国54人、障害競技、馬場競技の二種目があり、両方出場しました。日本からは大阪体育大学の平原さんと明治大学の加藤さんと私の3人が出場しました。出場については、全日本学生馬術連盟から指名されます。

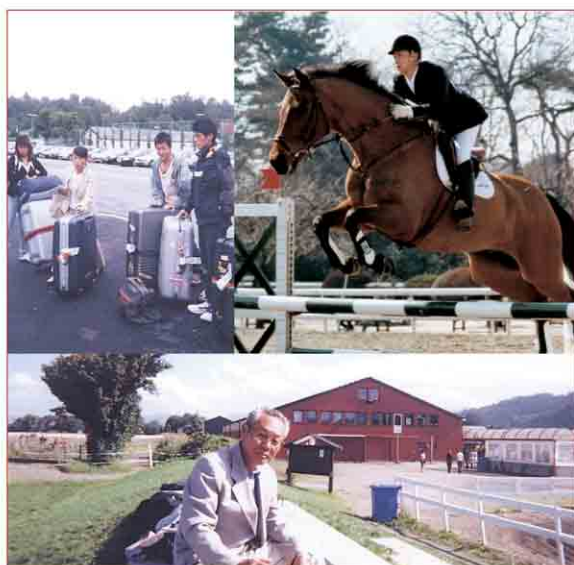
村井さんおよび日本チームの活躍について教えてください。

村井 障害競技で3人全員が二回戦に進出できたことです。1カ国3人のうち全員が2回戦に進出することはなかなか難しいことなので、この結果が団体戦2位に結びつきとてもうれしかったです。

今回の大会についてや、開催国についてどうでしたか。また、何かエピソードがあればお聞かせください。

村井 そうですね。大会の中でキス&ワインという儀式にはびっくりしました。これは、最後の優勝決定戦の直前に、選手が異性からキスとワインで祝福されて決勝に挑むというもので、

今回はたまたま決勝の選手が二人とも女性になったのですが、会場の中から選ばれるキスをする男性に何故か日本から加藤君と私が選ばれて……。こんな恥ずかしいものうれしいことはありませんでした。キスのあと、女性選手はグラス1杯のワインを二気に飲み、颯爽と決勝戦に騎乗していったのです。大事な試合の前にお酒なんてと思いますが、さすが、ヨーロッパは騎士の国・ワイン文化の国なんだと思いました。また、ノルウェーは、福祉の関係で税金がものす



ごく高く、物価の高さには驚かされましたが、それでも緑豊かで静かな良い国だと思いました。10月、11月には夜空にオーロラが揺れはじめるそうです。今度は観光で行ってみたい国です。

木下部長は、今回の大会出場についてどのような感慨がありますか。村井さんについてはどうですか。

木下部長 創部以来、このような大会にノミネットされたことがなく、昨年度に続き2年連

続で本学の馬術部の学生が選出された(注2)ことに對し、驚きと同時に、非常に喜んでおります。また、今回の世界大会でサポーターとして彼らを見てきましたが、何に對しても臆することがなく行動し、日本の代表として頑張っていたことに對して、敬意をはらう思います。また、銀メダル獲得も快挙ですが、わずか3人の日本代表に選出されたことが素晴らしい。全日本学生馬術大会の地方大会で優れた成績を修めてこないとい無理なこと、このこと自体が賞賛に値するものです。

最後に、この大会が村井さんに与えた影響と、今後の目標・進路・夢などをお聞かせください。

村井 今回の大会で感じたことはやはりヨーロッパの国の選手のレベルの高さです。乗馬の本場はヨーロッパです。特にドイツ選手の上手さには正直、感心しました。いつかはヨーロッパで乗馬の勉強をしたいと思いました。

最後にこの大会をサポートしてくれた名古屋学院大学の理事長・学長をはじめ関係者の皆さん。また馬術部の中井監督や木下部長など関係者の皆さんにお礼を言いたいです。

“ありがとうございます。頑張りました。”

長時間ありがとうございました。今回の活躍は、村井さんの馬への愛情と馬術への向上心、不断の努力によって生まれたものでしょう。今回の体験はこれからの人生にとっても大きな自信になることと思います。これからの活躍を期待します。

(注1)トロンヘイム1997年に10000周年を迎えた歴史ある街。ノルウェー中部に位置し、ニード河がトロンヘイムフィヨルドに流れ出る河口に拓けたノルウェー王国最初の首都で、現在は、オスロベルゲンに次ぐ第3の都市。
(注2) 昨年は、選出学生が怪我のため辞退

”愛・地球博“会場のかたすみで見つけた大きなこと



9月25日に125の国と地域が参加し、半年間開催された「愛・地球博（愛知万博）」が惜しまれながら閉会しました。2,200万人と

いう予想をはるかに超えた入場者の共感を得たのは、地球環境を考えさせた初めての市民参加型という新しい博覧会のあり方でした。

前号でも紹介したように、この博覧会に、多くの名古屋学院大学の学生の皆さんがボランティア活動をされましたが、その中で、自然環境をテーマにした地球市民村（長久手会場）の自然食レストラン店長として活躍された大学院生の古橋敬一さんに、この博覧会参加への動機や、閉会後今感じていることなどを話していただきました。

●いざ万博へ

万博プロジェクトへの参加のきっかけは、2003年の暮れのこと、「NPO法人ビীগットカフェ」との出会いです。ビীগットカフェは、「素敵ないこと始めよう」をコンセプトに、社会問題を若者達と一緒に考えるコミュニティカフェイベントを展開してきたNPO法人です。瀬戸市中心市街地商店街にて、まちづくり活動の一環としてコミュニティカフェ「マイルポスト」を運営していた縁もあって、ビীগットカフェとも接触する機会がありました。彼らは、「20世紀の巨大開発型イベントである万博には、基本的に反対です。しかし、万博会場の中で、私たちは環境負荷のからない新しいライフスタイルの実践を試みます。」



～ 万博地球市民村レストラン店長体験記 ～ 古橋敬一さん

ふるはしけいいち

既に始まろうとしている万博にNOを唱えるのではなくYESのライフスタイルの提案をします。」と語っていました。具体的には、地球市民村と呼ばれる日本全国のNPO／NGOが集まるパビリオンで、コミュニティカフェを常設して人が出会い交流するスペースをつくり、そのカフェの目の前には、カフェと連動させて循環型の仕組みを見せる畑をつくるというプランでした。何となく、話のおもしろさに興味が湧いた私は、「畑は、市民参加のボランティアでつくった方が良く、それを通してチームビルディングを行い、半年間をのりきれるチームをつくりあげたらおもしろいのでは？」などと、その場でアイデアを語っていました。

●店長というポジション

歳月は流れ、いつのまにか、わたしはプロジェクトリーダーになり、店長というポジションをまかされていました。チームを構成するメンバーは、20代前半から50代までと幅広く、経験や能力の高い人たちがたくさんいました。そうしたメンバーが、それぞれの個性を発揮し自己実現を叶えていくことを、どのようなしてお客様の満足につなげるのか、またNPOとしての社会貢献性に結びつけるのか、全国のNPOが抱える問題の縮図のような問題が山積みでした。NPOでありながら、ビジネスモデルとしても成功を勝ち取らなければ、評価は得られない現実。NPOの組織マネジメントという中で、起きてくる数々の問題は、管理されたルールや決まり事で対処するものではなく、直面する度に、みんなの意見を聞き、合意形成をはかることを繰り返す

り返さなければ解決していきません。

利益重視の社会の仕組みに傷ついて、新しい社会の枠組みや仕組みをつくりだしていこうという決意のある人もいました。独特の感性を持ち合わせて、でもそのために生きづらい思いをしてここにたどり着いた人もいました。合意形成をはかるとは、そうした二人一人と私自身がまず向き合うことであり、相手の生き方を受け止めることから始まります。

●店長としての喜び

メンバーの二人一人がここに来てよかったと思えるように、そのすばらしい生き方に自信がもてるように、それをもってお客様に喜んでもらえるように……。自己実現と社会貢献をイコールで結びたい、それは、瀬戸のまちづくり活動で私が掲げてきた目標の真価が問われる場所でもありました。私自身、本当にたくさんの方に悩まされた日々でした。楽しいことよりも、辛いことの方が多かった。でも、仲間達とは、一生続いていくような深い関係が生まれました。そんな仲間の一人が言ってくれたことで、本当に嬉しかったことが一つ、それは「わたしが、店長についていこうと決めたのは、はじめての瀬戸へ来た時に、マイルポストの、あの雰囲気と働いているメンバーの気持ちよさに触れたことが大きかった。わたしも、この仲間に入れて欲しい、一緒に気持ちよく働きたい、そう思ったんだ。」という言葉でした。

●メンバーに支えられて

「マイルポスト」は「道しるべ」という意味を持ち、学生達のまちづくり活動でも要の拠点となる場所です。その場所を支えてくれている後輩達の姿そのものが、人を励まし、勇気づけ、そして信頼までも与えていたのです。思えば、万博開催中の目も回るような

Topics



忙しさの中で、いつもボランティアのお手伝いをおこなって出たのも、彼らでした。商店街の中とは、まるで異なる現場の中で、戸惑い、悩み、苦しい思いもしたことでしょう。しかし、彼らは「学びと」でもありました。「何かの役に立ちたい」「自分自身の存在意義をもとめて、「私にできることは何だろうか？」と世の中を見つめてみれば、私たち二人一人にできる数多くの出来事に出くわします。そうした出来事に、興味関心を持つて関わり、自らにできる最善を尽くしてみる。その中で、自分を知りまた自分にしかできないことがらに出会えたなら、それは本当に幸せなことです。

●未来に向かって

そんな幸せにどっぷりとつかっていることを、知って知らずか、厳しくも意義ある人生にこんなばんにされながらも歩んでいく人がいる。その姿に、人は感謝を励まされていくのだろう。そんなことを思いました。それは、私自身が目指す生き方でもあります。たいしたことはできないけれど、あきらめないことはできる。後輩達の成長は、自分のことのように嬉しいものでした。そして、知らない間に助けられていたのです。ライフスタイル提案とは、生き方の提案とも言えます。少しむきになって生きているくらいが丁度いい。魅力的な人生を歩むたくさんの方々に出会えた万博プロジェクトは、わたしの人生にまた大きな「道しるべ」をプレゼントしてくれました。

これまでお力添えをいただいた、各方面の皆様、本当にありがとうございます。万博参加で得たものを私自身に活かした、また多くの人に伝えていかなければならないと思っています。

(名古屋学院大学大学院経営研究科
経営政策専攻博士課程)



白鳥学舎建物配置図

- 凡例
 植栽帯
 中高木
 ■建物概要
 延床面積：約24,100㎡
 建築面積：約5,900㎡
 階数：地上8階、塔屋1階
 主要諸室：教室、研究室、
 レストラン、
 学術情報センター、
 事務室、
 体育館、
 チャペル（2期工事）
 建物高さ：約41m
 駐輪台数：260台程度
 駐車台数：20台程度
 （車椅子使用者を含む）



チャペル外観イメージパース（正門より）



チャペル内部イメージパース



クラブハウス外観イメージパース（白鳥公園より）

名古屋キャンパス概要報告(3)

初回は、名古屋キャンパスの周辺環境の良さ（交通アクセスの良さ、自然環境の良さ）や周辺地域との共生に対しての大学の方針、今回は白鳥学舎・日比野学舎の建物平面構成図を参考に各階の施設の配置や用途についてご報告いたしました。今回は、名古屋キャンパス建設工事の進捗状況と、白鳥学舎に設置するチャペル・クラブハウスの計画について報告をします。

工事進捗状況

白鳥学舎については、建設業者が鹿島建設株式会社にきまり、8月1日（月）に起工式を執り行いました。1年5ヶ月後の2006年12月の完成を目指すことになりました。白鳥学舎工事の進捗状況は、8月中の建設予定地外周工事壁や工事車両進入路整備、現場作業事務所の設置などの準備作業が終了し、9月からの本部分校舎棟の掘削・杭打ちも終わり、現在、基礎工事が進んでいます。

日比野学舎工事については、既にお知らせしておりますが、名古屋市住宅供給公社が建設した建物を名古屋学院大学が購入し、校舎として利用することになっています。大学が使用するため全面的に設計に係わっておりますが、施主は名古屋市住宅供給公社です。建設業者は公共工事と同様の入札方式で決定されました。その結果、株式会社 塩浜工業（本社：福井県敦賀市）が施工業者に決まり、10月31日に着工前の住民への工事説明会が開かれました。11月中旬に着工の予定、完成は、白鳥学舎と同じ2006年12月です。

チャペルとクラブハウス（2007年1月末完成予定）

チャペル

チャペルは、白鳥学舎敷地の北西角に位置し、地下鉄日比野駅から進んでくると教室棟とともにチャペルのカリオン（鐘塔）が目飛び込んでくる設計になっています。外観は瀬戸キャンパスのチャペルを小さくしたような大屋根とカリオンとレンガタイルの壁面が特徴です。

■建物概要：鉄筋コンクリート造（地上1階）、建築・延床面積330㎡。

チャペルは、132人収容できる礼拝堂と、管理棟（事務室・会議室・トイレ）からなります。礼拝堂は、玄関・ホールから入り、礼拝堂の正面には祭壇がありそれは聖壇の中心となっています。礼拝堂は大屋根まで約10mの吹き抜けの大空間となっています。また、建物西側に高さ約16mのカリオンがあり、チャペルのイメージを表しています。

クラブハウス

クラブハウスは、チャペルと約10mほど離れて東側に隣接する建物です。外観は教室棟・チャペルと同じレンガタイルの壁面で統一感を持たせています。2階建ての建物が2棟並行に連なり、2棟の間はガラス屋根で覆われ、雨に濡れないで部室に入ることができるのが大きな特徴です。2棟の間には、2階に出入りする共通の階段があり、その周りは雨を避けることができる学生の憩いの広場となります。

■建物概要：鉄筋コンクリート造（地上2階）、建築面積約500㎡・延床面積約650㎡。

東側のクラブハウスは、音楽練習室2室（1階）・クラブ室12室（1階4室・2階8室）と、クラブ学生が憩えるラウンジとトイレがあります。西側のクラブハウスは、16のクラブ室（1階8室・2階8室）からなります。クラブ室等は冷暖房設備が完備されます。

2005年度就職内定企業状況(9月22日現在)

【建設業】(株)熊谷組、(株)豊島建設、積水ハウス(株)、大和ハウス工業(株)、(株)サンヨーハウジング名古屋、東建コーポレーション(株)、富士ハウス(株)、三交ホーム(株)

【製造業】アイシン精機(株)、(株)リンナイ、矢崎総業(株)、(株)資生堂、日本金属工業(株)、豊和工業(株)、大和冷機工業(株)、オルガン針(株)、河村電器産業(株)、カネ美食品(株)、コカ・コーラセントラルジャパンプロダクツ(株)、岩田食品(株)、桂新堂(株)、三共食品(株)、東海ペプシコーラ販売(株)、日本食研(株)、米久(株)、名古屋製酪(株)、麻益(株)、(株)ワークスジャパン、中国塗料(株)、大阪玉造銅業(株)、(株)アンスコ、(株)ナガラ、(株)マルゼン、旭千代田工業(株)、富士精工(株)、(株)東海精機、森松工業(株)、(株)メルコエアテック、(株)生方製作所、(株)徳重、サカエ理研工業(株)、伸栄プラスチック(株)、大橋鉄工(株)、(株)内藤商会

【卸売業】(株)三陽商会、(株)クラヤ三星堂、(株)スズケン、中北薬品(株)、(株)明電舎、(株)OSGコーポレーション、(株)メーカケフ、(株)オリバー、(株)リリカラ、八木兵(株)、(株)トゥモローランド、(株)ファイブ・フォックス、美濃屋(株)、万兵(株)、綿常(株)、中日本フード(株)、東海食品(株)丸忠グループ、(株)タクマ食品、(株)昭和、(株)松風屋、杉秀コンフェックス(株)、山宗(株)、(株)セキノ興産、山信(株)、米津物産(株)、北日本物産(株)、(株)オービックオフィスオートメーション、(株)トップ、(株)メディコムソリューション、イスコジャパン(株)、ダイドー(株)、トヨタ部品愛知共販(株)、リコー中部(株)、三立興産(株)、(株)オータケ、(株)井桁藤、(株)三富、クリエイト(株)、宮吉硝子(株)、中部ホームサービス(株)、ブリヂストンタイヤ中部販売(株)、ヨコハマタイヤ甲信販売(株)、三浦電気(株)、中部NOK販売(株)

【小売業】ユニー(株)、(株)サークルKサンクス、ミニストップ(株)、(株)ハロー、トヨタ生活協同組合、(株)カーマ、(株)カインズ、(株)スギ薬局、(株)ギガス、(株)ドン・キホーテ、(株)ビジョメガネ、(株)ビックカメラ、(株)雑貨屋ブルドッグ、ゲンキー(株)、(株)フィールコーポレーション、(株)フードセンター富田屋、(株)山彦、(株)清水屋、ハローフーズ(株)、(株)リオチェーン、はるやま商事(株)、(株)デニーズジャパン、(株)プロコンビリー、(株)マリノ、(株)山本屋本店、チタカインターナショナルフーズ(株)、(株)大創産業、ブリヂストンリテール中部(株)、(株)ヤナセ、愛知トヨタ自動車(株)、名古屋トヨペット(株)、トヨタカローラ愛豊(株)、愛知日産自動車(株)、(株)ホンダベルノ愛知、東海マツダ販売(株)、岐阜トヨタ自動車(株)、三重日産自動車(株)、静岡日野自動車(株)、(株)スズキ自販浜松、岡山トヨペット(株)

【運輸・不動産業】アシアナ航空(株)、日本航空(株)、伊勢湾海運(株)、愛知海運(株)、(株)フジトランスコーポレーション、名古屋鉄道(株)、東日本旅客鉄道(株)、福山通運(株)、トナミ運輸(株)、トヨタ輸送(株)、キムラユニティー(株)、カリツ(株)、(株)エイブル、(株)ニッショ、(株)ミニミニ、(株)山忠、東邦不動産(株)

【金融業】(株)清水銀行、(株)第三銀行、瀬戸信用金庫、碧海信用金庫、東濃信用金庫、豊田信用金庫、愛知信用金庫、金沢信用金庫、飯田信用金庫、西尾信用金庫、中日信用金庫、東春信用金庫、尾西信用金庫、愛知県中央信用組合、信用組合 愛知商銀、豊橋商工信用組合、あいち多農農業協同組合、あいち中央農業協同組合、あいち尾東農業協同組合、とびあ浜松農業協同組合、西美濃農業協同組合、陶都信用農業協同組合、新光証券(株)、東海東京証券(株)、(株)オリエントコーポレーション、(株)UCS

【サービス業】(株)NOVA (NOVAグループ)、(株)アビバジャパン(アビバグループ)、(株)さなる(佐鳴予備校)、シーシーエヌ(株)、(株)オービックビジネスコンサルタント、(株)テレウェイヴ、(株)トヨタテクノサービス、(株)ベルシステム24、(株)日立情報システムズ、アイサンテクノロジー(株)、(株)ジェイティービー(JTB)、(株)ジェイティービートラベルランド、近畿日本ツーリスト(株)、名鉄観光サービス(株)、日旅サービス(株)、長島観光開発(株)、(株)グリーンズホテルシステムズ、(株)ジェイアール東海ホテルズ、(株)名古屋観光ホテル、(株)アクトス、(株)愛知冠婚葬祭互助会 高砂殿、出雲殿グループ、総合警備保障(株)、大成(株)、瀧富工業(株)、(社)福サンライフ

【公務員ほか】愛知県警察官、名古屋港管理組合

しかし、「これで安心」とはいきません。「いい学生がいれば採りたい」という厳選採用の姿勢は、依然として企業側に強く見られます。主要企業の来春の新卒採用予定人数は、前年度実績比較で23%増(日経新聞)と発表され

ています。その要因は、企業業績の好転に加えて何年も採用を抑制してきた影響から、年齢による人員構成の適正化が大きな課題となっており、企業に採用意欲が出ているからです。本学の学生たちもそれを裏付けるように、JTB、日本航空、JR東日本、アイシン精機などの難関企業からも内定が出ており、前年度以上の結果を残しています。まさに、努力をすれば報われる時代が訪れています。

今年の就職戦線は、売り手市場だと報道されています。その要因は、企業業績の好転に加えて何年も採用を抑制してきた影響から、年齢による人員構成の適正化が大きな課題となっており、企業に採用意欲が出ているからです。本学の学生たちもそれを裏付けるように、JTB、日本航空、JR東日本、アイシン精機などの難関企業からも内定が出ており、前年度以上の結果を残しています。まさに、努力をすれば報われる時代が訪れています。

就職難と求人難が並走する 2005年度就職戦線

Recruit

しています。しかし株式会社デイスコが調査した資料では、「採用予定人数の確保よりも、学生の質を優先させる」企業が9割を超えています。バブル期以上の採用意欲が感じられる中で、10社に9社は「質重視」の姿勢を崩していません。

企業は将来の中心的存在となる人物を求めています。採用予定人数の確保よりも、学生の質を優先させる。企業が9割を超えています。バブル期以上の採用意欲が感じられる中で、10社に9社は「質重視」の姿勢を崩していません。

こうした時代にあつて大切なことは、実社会で通用する能力を身につけ、意欲的な就職活動を行うことです。本格的な就職活動を開始する3年生、今が大事な準備段階である1・2年生も含めて、「自分は何がやりたいのか、何ができるのか」をはっきりと表現できる人間になれるよう、キャリア形成をしてもらいたいと願っています。



Essay ②⑤

火山の島アイスランド

いしかわ てるみ
石川輝海
(外国語学部教授)



大西洋の北部の島、北緯64度に位置するアイスランドは火山島で、島の東部や中央部に氷河が発達します。私は以前からそこへどうしても行きたかった。2003年夏に経済学部の家本教授と一緒に行くことができました。

この島は大西洋中央海嶺と呼ばれる海底山脈の一部が海面上に露出した所です。海嶺はプレートとの分裂境界でマント

ル物質が地表へ噴出しているところです。そのため火山活動が盛んで、島の全体が火山岩で形成されています。この様子は飛行機がアイスランドへ接近した時から見られます。飛行機が低空になると、樹木がほとんど見られない地表に黒色の玄武岩に覆われた大地を見ることがができます。また、空港から町までのタクシーは、溶岩が噴出して、流れた不規則な地形いわゆる鬼の押し出しの中を通ります。地表は岩石で覆われているため、堅く、また島の形成が新しいため土壌の発達が悪く、草も樹木も生育しにくい不毛の大地です。

アイスランドは人口27万、面積10万平方キロメートル(北海道の1.2倍)の独立国です。人口の約4割が首都のレイキャビックに住んでいます。町は清潔で、歩く人も少なく、また広い道路が印象的で、小さい国であるのに広すぎる感じがしました。建物の高いものは4-5階建てで、一般に低い建物が多く、壁面や屋根は明るい色のペンキが塗られています。白色の屋根が多く、日本で黒色の屋根を見慣れている私には奇異に感じました。

アイスランドはメキシコ湾流(暖流)の影響で高緯度にしては暖かく、湿度が高いため降水量が多い。そのため氷河が発達しています。その氷河は良質の水を提供します。雨水は地下に浸透

し、火山の熱で暖められ、温泉として島のいたるところででています。レイキャビックの町の中にも白い蒸気が噴出しています。

アイスランドは氷河の融けた水が水道水として使われ、各家庭に無料で供給されています。さらに、地熱で暖められた温水も供給され、暖房、温水、温室用に使用されています。アイスランドのエネルギーは火山です。電力の多くは火山熱である地熱でつくられています。また豊富な氷河の融水で水力発電も行われています。豊富な電力を使用してアルミ精錬が行われています。

地熱発電所の排水は直径100メートルほどの池に貯められ、温泉の池になっています。それはブルーラグーンと呼ばれ、市民の憩いの場になっています。

アイスランドの火山は南北に並んで活発に活動しています。あまり大きい火山はありません。それは噴出するマグマの粘性が小さいため、流動性があるため、噴出したマグマは流れ去ってしまい、高い山にならないからです。また、地面が水平方向に張力を受けて、地割れができています。これがまさに地球の割れ目です。

私の見たアイスランドは滞在期間が3日間でしたのでほんのわずかです。溶岩原、火山、噴気、間欠泉、オーロラ等素晴らしい自然を見ました。



私の講義日記誌

「公法」

私の担当科目は、「法と社会」「公法概論」「行政法」「法政策」といった法学と関係するものです。講義に際しては、分析の視点を予め明確に提示したうえで、抽象的な原理原則が細かな法制度にどのような影響を与え、あるいは与えるべきなのかについて、受講生諸君とともに考えていくことに腐心しています。

法学を学ぶ第一の意味は、こうした抽象度の高い原理原則を具体的な法制度ひいては事件にまで降ろすことのできる論理的能力、すなわち解釈論を習得することにあるといわれています。この法技術は、講義に出席さえすればある程度の線まで自

にしと しょういちろう

西土彰一郎

担当者

行政法担当



然と身につくものなのかもしれません。しかし、実際の事件は非常に複雑で、法技術的に見て唯一の正解というものは存在しないに等しく、最後はその人の価値観とか発想力に頼らざるをえない面もあります。それは結局のところ困難な事件と苦闘することによつてのみ得られるものでしょう。その意味で真の教師は受講生自身の内にあります。

この内なる「真の教師」を発現させるべく、一筋縄では対応できない具体的事件を素材として講義を展開しようと努力しています。したがって、何らかの「解法」を述べるとき、それはあくまで私の貧しい思考プロセスを吐露するものであり、批判的に対峙する必要があります。そして「極端」で「偏った」

Campus Now



(経済学部講師)

意見を言うのは、受講者に怒りと恐怖を呼び起こし、自分なりの考えへと誘うため、と自己弁護したいと思います。もちろん技術的な話もありますが、それは事件を解決するための道具を提供するためです。それゆえに、技術論と「解法」を峻別させて講義を行うことに留意しています。逆にいえば、情熱が空回りしないための技術論ともいえましょうか。

試験答案や感想を読むと、こうした私の意図を汲み取ったものを数多く目の当たりにして嬉しい限りです。仮借なき批判ができることは貧困な思想を打破した証明です。このような豊かな思考をさらに刺激するべく講義に臨みたい、そして願わくば、具体的事件を検討することにより、そこに秘められた当事者の怒りと悲しみを共有できる感性、その集積たる歴史の上に構築された法の原理原則を厳粛に把握する視点を養ってもらいたい、このように考えています。

2005年度 父母懇談会を終えて

今年度の父母懇談会は、多数のご参加を頂き無事終了しました。毎年8月後半から9月中旬に亘り開催しておりますが、今年は格別に残暑厳しいなか、ご参加頂き誠にありがとうございました。

今年度の開催地は地方会場5ヶ所と大学会場、および沖繩・彦根・長崎・福岡を合わせ計10か所で開催し467名のご参加を得ました。懇談会では、大学の近況をご報告させて頂くとともに、ご父母の皆様と大学関係者が膝を交えて、学業の状況や課外活動、学生生活、

また就職など将来の進路について、相談や懇談をさせて頂きました。今年は、本学が2007年に名古屋キャンパス開設を予定していることもあり「下宿は移らなければならぬか」「クラブ活動はどうなるのか」など移転に伴う質問が多数寄せられました。これからキャンパス移転に関しましては、今後ご父母の皆様と学生の皆様にご説明申し上げます。

来年も同時期に父母懇談会の開催を予定しています。本年にも増して多数のご参加を希望します。

会場別参加状況

9月3日(土)		9月17日(土)	
岡山会場	15名	大学会場	264名
浜松会場	73名	その他会場	
四日市会場	38名	沖 縄	5名
		彦 根	5名
		長 崎	7名
		福 岡	1名
9月10日(土)		合 計	467名
金沢会場	20名		
岐阜会場	39名		

経済学部

経済学科

4年生

橋本 理博 澤村 さやか 板倉 僚 安藤 重久 岡田奈緒美
赤堀 俊介 呂 福明 佐藤 光慎 丹羽 陸新
宮地 勇太

3年生

浅野 政夫 滝川 昌明 竹野 和正 後藤 洋一 羽根田 紋
五十川 裕也 田中 亮次 加藤 哲 野村 将司 小栗 敬生
杉山 雄基

2年生

川口真有美 山本 健司 住田 一浩 大橋 成仁 関 昌平
戸田 伸 坂田 友明 伊藤 嘉紀 松田 敬佳 川井 覚雄

商学部

商学科

4年生

秋田 拓郎 中神 司 林 玲 千賀 聖子 伊藤 晴康
森田 勇輝 顧 芹 加藤 晃子 稲山 浩亘 東山 香
森本 匡

3年生

後藤 和文 吉本羽良々 池田 梨恵 杉山 裕明 稲吉奈緒美
青山裕次郎

2年生

伊村 栄倫 楠 康弘 鈴木 智江 北 美奈子 黄 鳴宇
日置 啓太 下村 香奈

外国語学部

英米語学科

4年生

若尾 博子 谷 智枝子 佐々木由香 藤原 陽子 加藤 沙織

3年生

横山 雄一 小林 伸央 服巻 有美 小林 博樹 萩田 瑠李

2年生

藤井 美織 福井瑠美子 村井 さやか 髯崎 由美 鈴木 亜鐘

政策学科

4年生

加等 さや香 安庭 有香 八木 圭一
岩本 葉月 尾関 智美

3年生

古謝 静香 田島 史浩 山本 朋広
門屋 直樹 中安佐緒里

2年生

西尾 あさ佳 天野 翔 金森 直道
真弓 祐一 関澤 大和

情報BC学科

3年生

伊佐治良介 小林 望央 後藤美智子
戸田 龍佑

2年生

安田 曉彦 澤村 まいみ 篠原 沙樹
坪井 智也

中国語学科

4年生

松岡 聖子 近藤 智子

3年生

本間裕依子 近藤 寛明

2年生

石倉妃加里 伊藤 有里

2005年度 学部長表彰
100名に学部長表彰状を授与
学業成績優秀者を表彰する学部長表彰者100名が決まり、7月6日(水)チャペルにおいて表彰式が行われました。各学部の学部長から表彰状と学業奨励金(図書券2万円)が授与されました。

表彰者のみなさん、おめでとうございます。



2005年度 父母会総会開催

2005年度父母会総会が6月25日(日)に希望館第3会議室にて開催されました。第1号議案「2004年度決算」、第2号議案「2005年度役員改選」、第3号議案「2005年度予算・2005年度卒業記念事業」について審議の結果、すべての議案が承認されました。議案のうち、第3号議案においては、2005年度予算に資格取得者に対する補助として「学生学習補助」の項目を新設し、また、2005年度卒業記念事業について、2007年4月に開設される名古屋キャンパスの開設記念事業積立金とすることが承認されました。

なお、「2004年度決算」、「2005年度予算」については下表をご参照ください。

● 父母会費について

学費納入時に父母会年会費、特別会費の納入をお願いしております。父母会活動にご理解をいただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

● 年会費

すべての在学学生1人当たり
4,000円/年

● 特別会費

4年次生1人当たり
5,000円

※父母会卒業記念事業費に充当

2005年度 名古屋学院大学父母会予算書

2005年度 予算				
2005年4月1日から2006年3月31日まで				
(単位 円)				
収入の部				
科 目	予 算	前年度予算	差 異	備 考
会 費	16,160,000	16,080,000	80,000	(全学部生) @4,000×4,040名
特別会費	4,835,000	5,380,000	△ 545,000	(4年次生) @5,000×967名
受取利息	500	500	0	預金利息
前年度未収入金収入	396,000	0	396,000	会費4,000×99名
前年度繰越	21,572,118	24,171,164	△ 2,599,046	前年度預金残高
収入の部合計	42,963,618	45,631,664	△ 2,668,046	
支出の部				
科 目	予 算	前年度予算	差 異	備 考
学生教育活動費	[14,650,000]	[12,650,000]	[2,000,000]	
学生行事補助	4,500,000	3,500,000	1,000,000	欄外に記入
課外活動補助	9,650,000	9,150,000	500,000	欄外に記入
学生学習補助	500,000	0	500,000	資格取得奨励金
運営費	[4,900,000]	[3,480,000]	[1,420,000]	
会議費	500,000	500,000	0	役員会、総会
事務用品費	100,000	100,000	0	コピー用紙、 コピー機リース料他
備品費	400,000	730,000	△ 330,000	
印刷費	150,000	150,000	0	総会開催案内関係
郵便費	2,250,000	500,000	1,750,000	役員会・総会開催案内・ 父母宛成績
慶弔費	400,000	400,000	0	学生・教職員対象
雑費	1,100,000	1,100,000	0	総会・懇談会・記念品代他
卒業記念事業費積立金	[4,835,000]	[11,065,000]	[△ 6,230,000]	名古屋キャンパス 設置記念事業(3年間積立)
予備費	[2,000,000]	[2,000,000]	[0]	
前期末未払金支払支出	[88,000]	[0]	[88,000]	
次年度繰越	[16,490,618]	[16,436,664]	[53,954]	当年度預金残高
支出の部合計	42,963,618	45,631,664	△ 2,668,046	
学生行事補助				
体育会フレッシュマンキャンプ	1,000,000			10クラブ特別補助
体育会文化会リーダーズ研修会	1,000,000			クラブ備品補助
大学祭補助	2,500,000			教職員指導補助
合 計	4,500,000			クラブ遠征補助
				ティーピング講習会補助
				合 計

2004年度 名古屋学院大学同窓会決算書

収支決算書				
2004年4月1日～2005年3月31日				
(単位 円)				
収入の部				
科 目	決算額 (a)	備 考	2004年度 (b)	2003年度 (c)
前期繰越金	25,169,235		0	2,000,000
会費収入	18,205,000	16年度卒業生会費 17,920,000円 終身会費 251,000円 年会費 34,000円	23,000,000	7,000,000
名簿作成引当金取崩し	2,000,000		0	4,015,708
受取利息	6,130		22,257,860	2,197,341
雑収入	35,000	名簿代等	4,387	1
合計	45,415,365		314,715	△ 715,000
支出の部				
科 目	決算額 (a)	備 考	2004年度 (a)	2003年度 (b)
人件費	1,231,575	職員1名分	86,670	27,763
通勤手当	108,000	職員1名分	52,663,632	2,494,397
交通旅費	15,250		0	0
通信費	357,145		0	0
事務用品費	35,136		0	0
什器備品費	405,855		0	0
慶弔費	5,000		0	0
交際接待費	120,000	敬愛同窓会協力金等	0	0
会議費	499,016	代議員会・理事会	0	0
卒業記念品費	2,742,680	目覚まし時計	0	0
学生活動補助費	2,759,265	大学祭・クラブ活動補助	0	0
広報活動費	4,900,175	会報発行(27,500部)	0	0
事業費	2,273,215	ホームカミングデー	0	0
支部活動費	275,505		0	0
名簿作成費	0		0	0
雑費	23,916		0	0
一般積立金	7,000,000		0	0
支出合計	22,751,733		0	0
次期繰越金	22,663,632		0	0
合計	45,415,365		0	0

2004年度 名古屋学院大学父母会決算書

2004年度 決算				
2004年4月1日から2005年3月31日まで				
(単位 円)				
収入の部				
科 目	予 算	決算	差異	備 考
会 費	16,080,000	15,868,000	212,000	全学部在学学生 4000×3967名
特別会費	5,380,000	4,485,000	895,000	(4年次生) 5000×897名
受取利息	500	3,301	△ 2,801	
期末未収入金	0	△ 396,000	396,000	会費4000×99名
前年度繰越	24,171,164	24,171,164	0	
収入の部合計	45,631,664	44,131,465	1,500,199	
支出の部				
科 目	予 算	決算	差異	備 考
学生教育活動費	[12,650,000]	[9,986,543]	[2,663,457]	
学生行事補助	3,500,000	1,679,028	1,820,972	欄外に記入
課外活動補助	9,150,000	8,307,515	842,485	欄外に記入
運営費	[3,480,000]	[2,685,804]	[794,196]	
会議費	500,000	400,566	99,434	役員会、総会
事務用品費	100,000	90,720	9,280	コピー機トナー、 カートリッジ
備品費	730,000	699,300	30,700	製氷機、食堂TV
印刷費	150,000	148,533	1,467	総会開催案内関係
郵便費	500,000	329,660	170,340	役員会・ 総会開催案内関係
慶弔費	400,000	245,000	155,000	学生・教職員対象
雑費	1,100,000	772,025	327,975	総会・懇談会・ 記念品代他
卒業記念事業費	[11,065,000]	[9,975,000]	[1,090,000]	フットサルコート新設
予備費	[2,000,000]	[0]	[2,000,000]	
期末未払金	[0]	[△ 88,000]	[88,000]	
次年度繰越	[16,436,664]	[21,572,118]	[△ 5,135,454]	
支出の部合計	45,631,664	44,131,465	1,500,199	
学生行事補助				
体育会フレッシュマンキャンプ	0			4,000,000
体育会文化会リーダーズ研修会	775,642			1,996,215
大学祭補助	903,386			1,046,852
合 計	1,679,028			1,264,448
				0
				8,307,515

貸借対照表

2005年3月31日				
(単位 円)				
資産の部				
科 目	2004年度 (a)	2003年度 (b)	差異 (a) - (b)	
名簿作成引当金特定預金	0	2,000,000	△ 2,000,000	
一般積立引当金特定預金	30,000,000	23,000,000	7,000,000	
定期預金	0	4,015,708	△ 4,015,708	
普通預金	22,257,860	20,060,519	2,197,341	
郵便貯金	4,387	4,386	1	
郵便振替	314,715	1,029,715	△ 715,000	
現金	86,670	58,907	27,763	
合計	52,663,632	50,169,235	2,494,397	
負債の部				
科 目	2004年度 (a)	2003年度 (b)	差異 (a) - (b)	
負債の部 計	0	0	0	
正味財産の部				
科 目	2004年度 (a)	2003年度 (b)	差異 (a) - (b)	
名簿作成	0	2,000,000	△ 2,000,000	
一般積立	30,000,000	23,000,000	7,000,000	
預貯金	22,663,632	25,169,235	△ 2,505,603	
正味財産の部計	52,663,632	50,169,235	2,494,397	
合計	52,663,632	50,169,235	2,494,397	

2004年度 同窓会決算書

教育振興資金・名古屋キャンパスチャペル建設資金

募金の御礼とご報告

ご寄付いただきました方々につきまして、感謝をもってご報告申し上げます。今後とも本学へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

寄付者ご芳名(順不同・敬称は略させていただきます。募金金額毎にご芳名をまとめさせていただきます。)

教育振興資金(2004年9月1日~2005年9月30日受付分)

9件 1,270,000円

// 父母会関係		5件	150,000円
100,000円	山本 隅男		
20,000円	三浦 正郎		
10,000円	加田 園美	桑山 成一	齊藤 信夫

// 卒業生関係		170,000円	林 真喜
// 理事・評議員・監事		100,000円	伊藤 信義

// 教職員		100,000円	藤田 行政
// 企業		750,000円	1件

チャペル建設資金(2005年2月1日~2005年9月30日受付分)

442件 54,987,100円

// 父母会関係		210件		4,390,000円																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
----------	--	------	--	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

学校法人名古屋学院大学の2004年度決算および2004年度事業報告は5月25日理事会で承認されましたので概略をお知らせします。

なお、2004年度事業報告および2004年度計算書類(資金収支計算書・消費収支計算書・貸借対照表)は本学ホームページに掲載されておりますのでご参照ください。学校法人会計は、経営の状況を見る「消費収支計算書」、資金繰りの状況を見る「資金収支計算書」および、財政の状況を見る「貸借対照表」により表示されています。当然この3つの計算書は相互に密接な関係があり、経営状態の善し悪しは、消費収支が均衡状態(消費収入≧消費支出)であるが否かが一つの判断基準になります。また、収入≧支出であれば資金繰りに窮することはないこととなり、それら経営状態の結果は財政の状態を表す貸借対照表上の財務比率や正味財産に影響を与えることとなります。

本学は社会のニーズに応えるため、学部学科のリニューアルを進めています。本年度は外国語学部国際文化協力学科(定員50名)(2005年4月開設)を申請し認可を受けました。これにより本学の学部学科構成は3学部7学科構成となり、学生にとっては学領域に幅ができたこととなります。期首学生総数は4,244名(大学院224名、学部4,020名)でした。うち新入生は1,045名(大学院63名、学部982名)を迎え、卒業生は946名(大学院89名、学部857名)を送り出し、その結果卒業生累計は33,989名となっています。

◆消費収支計算書

消費収支計算書は、当該年度の帰属収入合計(借入金等収入は除く)から基本金組入額を控除した「消費収入」と当該年度に消費する「消費支出」を比べて当年度の「収支差額」を算出する構造となっています。これにより当年度の収支の均衡や経営状態の健全さを判断すること

ができます。また、基本金組入額は当年度ないしは将来の施設・設備取得資金ですが、同時に永続的な教育研究活動を確保するため及び、計画的に自己資金を充実するために別途留保し、消費収入、消費支出に反映させないことになっています。

消費収入は、36億5,590万円となっています。この額は、帰属収入49億2,941万円から基本金組入額12億7,351万円を控除したものです。一方、消費支出は、43億9,606万円となっており、その結果、当年度の消費収支の差額は7億4,015万円の支出超過となっています。支出超過の要因は、名古屋キャンパス設置が確定したことにより、建設資金を第2号基本金に12億2,500万円組入れたことによります。

◆資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入、支出の内容を明らかにすること及び支払資金のてん末を明らかにすることです。資金収支計算書には借入金収入、前受金収入等が含まれ、また、施設・設備関係支出には資産の取得額が計上されます。

2004年度の資金規模は100億2,328万円となりました。また、資金繰りの状況を見る2004年度末の次年度繰越支払資金は41億7,555万円となり、2003年度末(37億3,633万円)より4億3,922万円増加しています。

◆貸借対照表

貸借対照表は、期末における大学の資産額を示し、その財源が負債(借入金等)、基本金(自己資金より調達した額)、及び消費収支差額からなっていることを表すものです。2004年度の本学の総資産は209億3,941万円となっています。基本金と消費収支差額を合算した正味財産の額は、184億4,978万円(前年度比3.0%増、5億3,335万円)増となっています。

2004(平成16)年度 決算総括表

●資金収支計算書

収入の部		04年度決算額
科 目		
学生納付金収入	4,220,209	
手数料収入	88,497	
寄付金収入	7,927	
補助金収入	385,102	
資産運用収入	51,080	
資産売却収入	0	
事業収入	15,163	
雑収入	146,334	
借入金等収入	0	
前受金収入	919,207	
その他の収入	1,472,040	
資金収入調整勘定	△1,018,603	
前年度繰越支払資金	3,736,331	
収入の部合計	10,023,287	
支出の部		
科 目		
人件費支出	2,678,323	
教育研究経費支出	1,140,333	
管理経費支出	347,935	
借入金等利息支出	0	
借入金等返済支出	0	
施設関係支出	17,383	
設備関係支出	70,065	
資産運用支出	1,544,126	
その他の支出	441,173	
予備費支出	0	
資金支出調整勘定	△391,601	
次年度繰越支払資金	4,175,550	
支出の部合計	10,023,287	

●消費収支計算書

消費収入の部		04年度決算額
科 目		
学生納付金	4,220,209	
手数料	88,497	
寄付金	21,160	
補助金	385,102	
資産運用収入	51,080	
資産売却産額	0	
事業収入	15,163	
雑収入	148,202	
帰属収入合計	4,929,413	
基本金組入額合計	△1,273,509	
消費収入の部合計	3,655,904	
消費支出の部		
科 目		
人件費(内退職給付引当額)	2,580,980	
	(111,845)	
教育研究経費(内減価償却額)	1,437,146	
	(296,813)	
管理経費(内減価償却額)	376,331	
	(28,396)	
借入金等利息	0	
資産処分差額	1,601	
予備費	0	
消費支出の部合計	4,396,058	
当年度消費支出超過額	△740,154	
前年度繰越消費収入超過額	320,047	
翌年度繰越消費支出超過額	△420,107	

●貸借対照表

(単位:千円)

資 産 の 部		(単位：円)	
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	16,605,569	16,517,355	88,214
土地	2,036,162	2,036,162	0
建物	3,626,623	3,817,927	△191,304
構築物	487,921	527,926	△40,005
機器備品	249,217	267,869	△18,652
図書	1,958,184	1,936,526	21,658
車両	7,150	3,109	4,041
建設仮勘定	0	0	0
その他の固定資産	8,240,312	7,927,836	312,476
流動資産	4,333,844	3,945,149	388,695
現預金	4,175,550	3,736,331	439,219
その他の流動資産	158,294	208,818	△50,524
資産の部合計	20,939,413	20,462,504	476,909
負債の部			
固定負債	1,147,252	1,244,595	△97,343
長期借入金	0	0	0
学校債	0	0	0
退職給付引当金	1,147,252	1,244,595	△97,343
流動負債	1,342,379	1,301,482	40,897
短期借入金	0	0	0
未払金	377,975	386,263	△8,288
その他の流動負債	964,404	915,219	49,185
負債の部合計	2,489,631	2,546,077	△56,446
基本金の部			
基本金	18,869,889	17,596,381	1,273,508
基本金の部合計	18,869,889	17,596,381	1,273,508
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費収入超過額	0	320,046	△320,046
翌年度繰越消費支出超過額	△420,107	0	△420,107
消費収支差額の部合計	△420,107	320,046	△740,153
負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計	20,939,413	20,462,504	476,909

2004年度決算財務比率

●消費収支計算書関係財務比率推移

No.	比率名	算式	99年度	00年度	01年度	02年度	03年度	04年度	高底評価	私大平均	財務比率の意味
1	学生納付金比率	学生納付金 帰属収入	87.5	86.2	88.1	86.5	85.2	85.6	△	74.7	学生納付金は帰属収入のなかで最大の比重を占めるものであり、各学校法人の自力財源の確保という意味では、高水準で安定的に推移するのが好ましい。
2	基本金組入率	基本金組入額 帰属収入	14.4	17.2	12.0	5.7	5.2	25.8	△	15.4	大学の諸活動に不可欠な資産充実のためには、基本金組入額が大きくなるとこの比率が高いことが望ましい。自己資金充実のためには、この比率が高いほど好ましい。
3	人件費比率	人件費 帰属収入	49.1	49.7	48.7	57.0	54.4	52.4	▼	52.0	人件費の消費支出のうち最大の部分を占めており、この比重が高いと消費支出全体を膨張させ、支出超過を招く場合もある。低いほど好ましい。
4	教育研究経費比率	教育研究経費 帰属収入	24.2	28.9	27.6	28.2	27.0	29.2	△	27.4	教育研究経費の帰属収入に対する割合である。教育研究活動の維持・発展のためには、消費支出を圧迫しない限りこの比率は、高いほど好ましい。
5	管理経費比率	管理経費 帰属収入	8.6	5.0	5.0	6.6	7.4	7.6	▼	7.9	管理経費は教育研究活動に支出された以外の経費である。学校法人の運営のため、ある程度の比率は必要だが、低いほど好ましい。

●貸借対照表関係財務比率推移

No.	比率名	算式	99年度	00年度	01年度	02年度	03年度	04年度	高底評価	私大平均	財務比率の意味
1	固定資産構成比率	固定資産 総資産	81.0	81.6	80.8	80.7	80.7	79.3	▼	83.8	有形固定資産とその他の固定資産を合計した固定資産の総資産に占める構成割合である。この比率は、流動資産構成比率とともに資産構成のバランスを全体的に見るための指標となる。資産構成の割合は、各学校法人毎に多様であるため、固定資産の内訳科目毎に分析する必要がある。低い値がよい。
2	固定負債構成比率	固定負債 総資産	8.0	5.1	4.8	6.2	6.1	5.5	▼	8.1	負債構成のバランス及びそれぞれの比重を評価する指標。固定負債の内容は、長期借入金、学校債、退職給付引当金等であり長期に亘って償還又は支払いを要する債務である。高い値は、好ましくない。
3	自己資金構成比率	自己資金 総資産	82.6	86.3	88.3	87.1	87.6	88.1	△	85.9	基本金と消費収支差額を合計した自己資金の総資産に占める構成割合である。この比率は、高いほど財政的に安定しており、50%を超えると他人資金が自己資金を上回っていることを示している。高い値がよい。
4	固定比率	固定資産 自己資金	98.1	94.5	91.4	92.7	92.2	90.0	▼	97.6	固定資産がどの程度自己資金で賄われているかを判断する指標。100%未満であれば、固定資産は自己資金で賄われており、100%以上であれば他人資金にも依存していることを示す。低い値がよい。
5	負債比率	総負債 自己資金	21.1	15.8	13.2	14.8	14.2	13.5	▼	16.4	他人資金である負債総額が自己資金を上回っていないかを見る指標で、100%以下で、低いほど望ましい。
6	流動比率	流動資産 流動負債	201.8	214.6	281.1	287.0	303.1	322.8	△	270.2	短期的に支払を迫られる流動負債に対し、現金預金は、短期的に現金化するこのできる資産の割合がどの程度かという資金流動性即ち支払能力を判断する指標。150%~200%以上が望ましい。
7	総負債比率	総負債 総資産	17.4	13.7	11.7	12.9	12.4	11.9	▼	14.1	総資産に対する他人資金の比重を評価する関係比率である。この比率は低いほど良く、50%を超えると負債総額が自己資金を上回っていることになり、さらに100%を超えると負債総額が資金総額を上回る状態、いわゆる債務超過となる。

(注) 1. 他大平均とは日本私学事業団「平成16年度今日の私学財政」の大学法人(医療系法人を除く)の平均値 2. 高底評価は、日本私学事業団「平成16年度今日の私学財政」による。△高い値がよい ▼低い値がよい 3. 総資産＝負債＋基本金＋消費収支差額 4. 自己資金＝基本金＋消費収支差額

名古屋キャンパス(白鳥学舎)起工式開催

去る8月1日(月)午前10時30分から、名古屋キャンパス(白鳥学舎)建設予定地で起工式が執り行われました。名古屋市や地域の代表のみなさん、理事長・学長はじめ大学教職員、設計・建設業者など100人を超える関係者の出席のもと、宗教部長の司式にしたがい厳かなうちに無事起工式は終了しました。式中の讃美歌斉唱には、本学学生のみなさんと共に名古屋中学・高校の合唱団が美しい声を響かせてくださいました。



世界学生馬術選手権大会「準優勝祝勝会」開催



去る10月15日(土)午後6時から名古屋メルパルクにおいて、8月にノルウェーで開催された世界学生馬術選手権大会で団体準優勝をした本学馬術部村井康式さん(経済学部4年)の祝勝会が開催されました。理事長はじめ大学教職員、中部学生馬術連盟の関係者、馬術部の中井監督・木下部長はじめOBのみなさんなど多数の関係者の出席のもと村井さんと馬術部の活躍を祝いました。

「本当に強い大学(週刊東洋経済)就職力部門にランクイン!!」

名古屋学院大学は、「本当に強い大学2005年版(週刊東洋経済10/15)」で、全国主要150大学中、就職力部門で中部地区大学第2位(全国第20位)にランクインしました。本学キャリアセンターの個人を大切にしていける指導方法が高く評価されたものです。また、財務力部門でも収支均衡が取れ、自己資金比率が高く、無借入金等が評価され中部地区大学8位(全国第47位)にランクインしています。



チャペル建設資金の募金のお願について

すでにご案内のとおり、名古屋キャンパスに「チャペル」の建設を計画しております。在学生のご父母の皆様には別頁記載のとおりご募金を頂戴しておりますが、未だ募金目標額に達していません。厳しい経済情勢のもとでの募金のお願いで恐縮に存じますが、本学の象徴である「チャペル」建設にご支援賜りたくお願い申し上げます。募金して頂ける場合は同封の振込取扱票にて郵便局からお振込みください。なお、この募金は任意でお願いするものです。募金にご協力頂いた方々のご氏名・金額を次号以降のコズモラマの紙面に報告させて頂きます。なお、コズモラマへの掲載をご辞退される方はご面倒ですが募金事務局までお知らせください。

名古屋学院大学ホームページ「リニューアル」

2005年11月1日より、名古屋学院大学のホームページがリニューアルされました。学内のホットニュースを随時掲載し、今まで以上に見やすいレイアウトになりました。お気軽にホームページにアクセスしていただければ、名古屋学院大学の「動き」を知ることができます。ぜひ、名古屋学院大学の情報交換の場としてご利用ください。

名古屋学院大学
ホームページ
<http://www.ngu.jp/>

2005年 11月～2006年 3月 行事予定

11月

- 4日(金) 第41回大学祭 [～6日(日)まで] ※臨時休講
 5日(土) 在学生による大学説明会<名学大学企画> [～6日(日)まで]
 6日(日) ホームカミングデー(思星館)<同窓会主催>
 陶芸館まつり(陶芸館)<大学祭協賛>
 9日(水) TOEFL-ITP [国際交流センター]
 12日(土) 一般推薦入試/スポーツ推薦入試(前期)
 13日(日) 特別・特別指定校推薦入試
 16日(水) スピーチコンテスト<英語・中国語>
 30日(水) 学生大会 [体育会主催]
 シティ・カレッジ「クリスマス」を学ぶ [～11月21日(水)まで]

- 第4回宗教講演会(キリスト教センター)
 第47回NGUチャペルコンサート
 第4回アフタヌーンコンサート(キリスト教センター)
 言語公開講演会

12月

- 3日(土) 自己推薦AO入試(1期)
 7日(水) TOEFL-ITP [国際交流センター]
 14日(水) TOEIC・中国語検定 [外国語教育センター]
 20日(火) クリスマスチャペル
 23日(金) クリスマスチャペル
 秋季学期授業終了 [冬季休暇～1月5日(木)]
 25日(日) 大学クリスマス礼拝

- リーダーズ研修会
 学生部長表彰(学生課)
 秋季献血運動(体育会主催)
 留学生別科秋季修了式

2006年 1月

- 6日(金) 秋季学期授業再開
 7日(土) 大学院修士論文提出期限
 自己推薦AO入試(2期)
 12日(木) 秋季学期授業終了
 シティ・カレッジ「日本企業の中国進出動向と中国ビジネス」 [～1月19日(木)まで]
 13日(金) 卒業論文提出期限
 補講 [～16日(月)まで]
 17日(火) 秋季学期定期試験 [～30日(月)まで]
 30日(月) 大学院秋季学期授業終了
 31日(火) 自己推薦AO入試(3期)/特別入試(後期(外国人留学生・海外帰国生徒・社会人))
 スポーツ推薦入試(後期A日程)/編入学試験(指定校後期・一般後期)
 短期/中期留学出発 [～2月]

2月

- 1日(水) 一般入学試験(前期) [～3日(金)]
 5日(日) 大学院入試(修士課程2期)
 [経済学専攻 英語学専攻 中国語学専攻]
 TOEFL-ITP [国際交流センター]
 8日(水) 集中講義 [～24日(金)]
 11日(土) 大学院入試(博士前期課程2期)[経営政策専攻]
 12日(日) 大学院入試(修士課程2期)[通信教育課程 英語学専攻]/
 (博士後期課程)[経営政策専攻]
 26日(日) 一般入学試験(後期A日程)

会社説明会(キャリアセンター)

3月

- 1日(水) TOEFL-ITP [国際交流センター]
 8日(水) 卒業確定者公示
 12日(日) 一般入学試験(後期B日程)/特別指定校推薦入試/
 スポーツ推薦入試(後期B日程)
 15日(水) 学位記授与式・修了式

学長表彰(学生課)

岡本 康



配属部署
 教務課
 趣味
 海外旅行
 学生へのメッセージ
 皆さんの学生生活、応援しています。

村松 竜也



配属部署
 総務課
 趣味
 演劇鑑賞(学生時代は芝居に没頭)。草野球。
 学生へのメッセージ
 皆さんの充実したキャンパスライフを支える縁の下で力持ちとして頑張ります!

鬼頭 志穂子



配属部署
 教務課
 趣味
 水泳、観光、株式投資
 学生へのメッセージ
 何事にも前向きに、あきらめずに頑張ります!

鷺見 暁史



配属部署
 財務課
 趣味
 スポーツ観戦、一人旅
 学生へのメッセージ
 年齢も近いので、気軽に声をかけてください。

吉村 綾子



配属部署
 総合政策部
 趣味
 映画鑑賞、スポーツ観戦、旅行
 学生へのメッセージ
 明るく、楽しく、前向きに進んでいきましょう!

成 廣 香 代 子



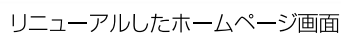
配属部署
 キャリアセンター
 趣味
 旅行、映画鑑賞、スキー
 学生へのメッセージ
 いろいろな事にチャレンジし、楽しい学生生活を送りましょう。

第8回高校生英語スピーチコンテストを開催

本校の高校生向けイベント「高校生英語スピーチコンテスト」が10月9日(日)に、さかえサテライトで開催されました。
 8回目にあたる今年のコンテストには、関東、関西から46名の応募があり、審査の結果20名を選考しました。応募のあったみなさんの英語レベルは非常に高く、コンテストでも激戦となり、そのうち下記の高校生のみなさんが入賞しました。
 上位入賞者を、10月23日(日)に、本学職員・留学生が引率してUSJへの旅行に招待しました。



最優秀賞	棚尾 真理絵	愛知県立千種高等学校	2年
	松井 栄弥奈	私立光ヶ丘女子高等学校	2年
優秀賞	根本 あゆみ	私立東邦高等学校	2年
	塩野 優実	私立光ヶ丘女子高等学校	2年
佳作	三毛 麻子	私立神戸女学院高等学校	2年
	鈴木 喜久美	私立暁高等学校	1年
	谷口 雄亮	私立暁高等学校	1年
	太田 真梨奈	私立春日丘高等学校	2年



発行日 ■ 2005年11月20日
編 集 ■ 名古屋学院大学 総合政策部
発行者 ■ 名古屋学院大学
愛知県瀬戸市上品野町1350 〒480-1298
TEL 0561-42-0317 ISSN 0915-8901

本学の情報はホームページでもご覧いただけます
http://www.ngu.jp/ E-mail: upr@ngu.ac.jp